



CUMOT × みらい創造機構 連携プログラム

Deep Tech 起業家創出コース

受講期間：2024 8/22 ~ 9/26 全6回

コースの目的

本プログラムは、東工大連携ベンチャーキャピタルとしてディープテックによるディープテックスタートアップに関するノウハウを有するみらい創造機構と、イノベーション創出にフォーカスしたMOT（技術経営）の教育ノウハウを有する東工大MOTが連携し、将来を担うディープテック起業家の創出を目指します。

コースの特徴

ディープテックスタートアップを取り巻く環境の変化を把握しつつ、実際の経営者からの講演やケースを通じた生々しいディープテック領域の経営に関する課題やチャレンジについて理解を深めます。バックグラウンドの異なるゲスト講師による講義により、より多面的な視点からディープテックスタートアップの経営/準備を体験します。

コース担当者の挨拶

コースコーディネーター

金子 大介

株式会社みらい創造機構
取締役 / 共同創業者

現在、ディープテックスタートアップに注目が集まっていますが、それを支える起業家/経営人材の不足が課題となっています。本プログラムを通じてディープテックスタートアップを取り巻く現状を理解するとともに、多様なバックグラウンドを持つ経営者とのセッションを通じ、実際の起業/経営参画に向けたリアルな学びを得ていただければ幸いです。

コースコーディネーター

高橋 遼平

株式会社みらい創造機構
パートナー/グロースチーム統括

自身のVC及びスタートアップ（SU）の起業経験から、ディープテックSUの経営者に求められる能力・素養は特異性が高く、非連続的な成長が求められると感じております。その分やりがいも大きい仕事ですが、大企業のマネジメントのようにまだ確立されたカリキュラムがないのも課題の一つです。本プログラムにて、SU経営者、SUの経営を目指す同志、並びに業界ステークホルダーとのリアルな議論を通じ、経営者への一歩を踏み出してもらえればと思います。

コース担当教員

辻本 将晴

東京工業大学 教授
環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程

東京工業大学研究・産学連携本部副本部長（起業活動支援担当）
東京工業大学イノベーションデザイン機構 機構長
Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE) プログラム代表

本コースは、株式会社みらい創造機構のご支援により実現したものです。大学・国研等の研究成果（いわゆるディープテック）を社会実装して新たな価値を生み出していくことが社会的に強く期待されていますが、その「リアル」には様々な課題、困難があります。日々この課題に取り組んでいる実際の経営者や支援者から生の声を聞き、学ぶことができる大変貴重な機会です。ぜひご参加ください。

みらい創造機構の紹介



みらい創造機構
MIRAI SOUZOU

みらい創造機構は、2016年に東京工業大学と組織的連携協定を締結し、ベンチャーキャピタルファンドを設立しました。2016年に1号ファンド、2021年に2号ファンドを設立し、東工大関連ベンチャーを中心に研究開発型スタートアップへ投資しており、現在までに3社がIPO、3社がM&Aにより、合計6社のEXITを達成しています。研究段階から起業後の資金調達、ハンズオンまで、技術の社会実装に伴走し“みらいを創造する”活動を行っています。

募集要項

プログラム受講期間	2024年8月22日(木)～9月26日(木) 毎週木曜 19時～21時 全6回	申込期間	2024年6月10日(月)～7月17日(水) (締切日必着) ※申込み順に書類審査を実施致します。
受講場所	東京工業大学大田町キャンパス 310教室 (東京都港区芝浦3-3-6 キャンパスイノベーションセンター)	受講審査・受講通知	審査結果についてはメールにてご連絡いたします。 (願書受領連絡後から1週間程度を予定)
受講料	無料 ※本プログラムは株式会社みらい創造機構の協力により、無料での実施となります。	実施体制	【主催】東京工業大学社会人アカデミー 【事業主体】環境・社会理工学院(技術経営専門職学位課程) 【修了認定】修了者には社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。 評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。
募集人数	20名(最小開催人数10名)	学習形態	120分で1コマの講義形式および個人課題の発表(最終日) ※講義の他に個人課題と演習等のグループ学習を想定しています。 ※受講ガイダンスの動画を事前に視聴していただきます。
受講対象者・参加要件	ディープテックスタートアップのCxO(Chief x Officer)として将来の起業/参画を本気で目指している方(社会人/教員/学生など)。参加要件は以下の通りです。 ・全6回の対面講義に参加できること ・アンケートやヒアリングなどに協力できること ・Slackなどのコミュニケーションツールなどの環境が整っていること ※上記の条件に加えて、下記のような方を歓迎します。 ・本プログラムでの学びを通じて起業を目指す方 ・同じ志や意欲を持つ仲間との交流やディスカッションを楽しめる方 ・「教わる」ではなく自ら「学ぶ」という意識があること		
申込方法	願書に必要な事項をご記入のうえ、PDFファイル等の電子ファイルでメール(cumot-info@mot.titech.ac.jp)宛に提出してください。 ※メールの件名:ディープテック起業家創出コース受講申込 願書の印刷による署名などが難しい方は、メールの送受信をもって押印・署名扱いとさせていただきます。 ・申込用紙ダウンロード先 PDF版申込用紙(PDF) : https://www.academy.titech.ac.jp/cumot/ent/data/cumot_DTE-apply.pdf Word版申込用紙(MS-Word) : https://www.academy.titech.ac.jp/cumot/ent/data/cumot_DTE-apply.docx		
お問い合わせ	東京工業大学 CUMOT事務局【e-mail】cumot-info@mot.titech.ac.jp ※受講についてのお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。		

HPIはこちら



プログラムスケジュール

	第1回 ディープテックスタートアップを取り巻く環境変化 8/22(木) 19:00-
講師	株式会社みらい創造機構 取締役/共同創業者 金子 大介
内容	・ディープテックスタートアップを取り巻く現在のマクロ的な環境について学ぶ ・投資家としてのVCについても理解を深め、起業後の資金調達について解像度を高める
	第2回 研究者によるディープテック起業のリアル 8/29(木) 19:00-
講師	株式会社みらい創造機構 パートナー/グロースチーム統括 高橋 遼平 ゲスト講師 ASEMTECH株式会社 代表取締役社長 生嶋 健司
内容	・大学研究者による創業ストーリーから、大学シーズの事業化に向けた課題やチャレンジについて追体験する ・講師とのセッションにより、創業前後の経営の意思決定等について学びを深める
	第3回 研究者との共同創業のリアル 9/5(木) 19:00-
講師	株式会社みらい創造機構 パートナー/グロースチーム統括 高橋 遼平 ゲスト講師 Pluto株式会社 代表取締役社長 井部 宏和
内容	・大学研究者と共同創業したストーリーから、研究者との起業/事業成長における課題やチャレンジについて追体験する ・講師とのセッションにより、会社経営における意思決定/合意形成等について学びを深める
	第4回 経営者候補として参画 / 代表就任のリアル 9/12(木) 19:00-
講師	株式会社みらい創造機構 取締役/共同創業者 金子 大介 ゲスト講師 株式会社グリーンケミカル 代表取締役社長 張 錦良
内容	・大企業から転職でディープテックスタートアップ参画、代表就任となったストーリーから、後継者としての会社経営の課題やチャレンジについて追体験する ・講師とのセッションにより、実際の会社運営や大企業との違いについて学びを深める
	第5回 EIR(客員起業家)という新たな起業手法 【特別講演】戦略コンサルの視点からみた技術経営の最先端 9/19(木) 19:00-
講師	株式会社みらい創造機構 パートナー/グロースチーム統括 高橋 遼平 ゲスト講師 アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社 パートナー 三ツ谷 翔太
内容	・ディープテックスタートアップの起業に向けた新たな選択肢としてEIR(客員起業家)について学ぶ ・最先端事例から技術を核とした経営手法について学ぶ
	第6回 最終発表会 9/26(木) 19:00-
講師	株式会社みらい創造機構 取締役/共同創業者 金子 大介 株式会社みらい創造機構 パートナー/グロースチーム統括 高橋 遼平 東京工業大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授 辻本 将晴
内容	・講義全体を通じた気づきを各受講生で共有し、相互に学びを深める ・今後のキャリアコミットメントを発表し、受講後のアクションを全体に宣言するとともに、将来の共同創業メンバーなど継続的な関係性を構築する